

危険！

ご注意！鍋釜の空焚きや天ぷら鍋の消し忘れ！

慣れているからこそあぶない！

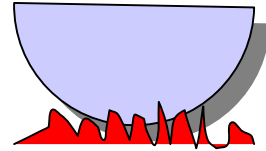
電気！



戸締り！



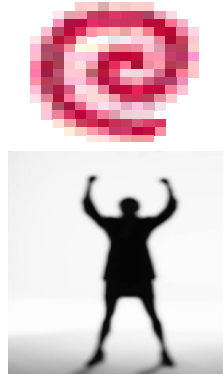
コンロのスイッチ！



どれも忘れては困ります！

お出かけ前に、他の用事をする前に、お休み前に！

あなたは忘れていませんか？
どうしたか覚えていませんか？



いつもしていること。
何気なくしていること。
当たり前のこと。
こんなことこそ忘れやすいものです！

ハッとした時にはもう！

放置・消し忘れと加熱・空焚きの怖さ

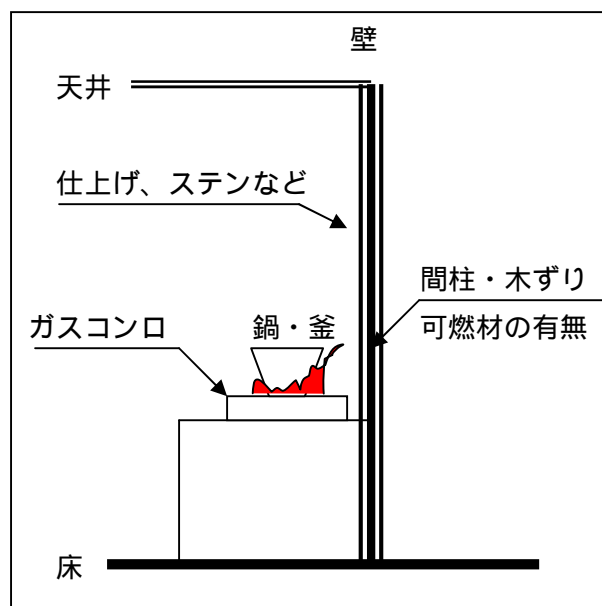
- 1 鍋や釜の空焚きが長時間続き、金属部が高熱体から赤熱化に進みますと至近な可燃物を燃やす力を持ちます。
- 2 鍋や釜の空焚きが長時間続きますと、バーナーやコンロ本体も高温体となり安全性が損なわれます。(ガスホースへの影響も大となります。)
- 3 鍋釜の空焚きや消し忘れが長時間続きますと、室内の温度が上昇し湿度が激減しますので火災になり易く、延焼拡大の危険も増します。
- 4 天ぷら鍋の消し忘れや過加熱による出火は、油温上昇による飛沫や気化ガスにコンロの火が引火する場合と、発火点以上に油温が加熱され自ら発火する場合があります。

- 5 コンロ等の周りの壁がコンロ等に接近している場合で、鍋釜の空焚きや消し忘れが長時間続きますと、不燃材仕上げ(ステンレスなど)で下地に石膏ボードを貼ってあっても、木ずりや間柱などの可燃性部分が高温となり危険です。

コンロ周りの壁の下地が不燃材でない場合

低温着火について

壁の下地材が木材などの可燃材で、壁とコンロとの距離が十分でないまま熱を受け続けると、可燃材部分が炭化し火災となる場合があります、これは、炎ほどの高温でなくとも、それに近い熱を長期間受け続けると、受熱部から少しずつ炭化し始め火災となる現象で低温着火と言います。これに似た現象で、微量水分を含む木材に通電し続けると、電気抵抗が上がり高温化した部分から炭化し始めることがあります。(金原現象)



厨房や調理場における防火対策

1 火災 / ガス警報器・設備

火気の多い場所には、火災やガスを自動的に感知する機器等が有効です。終業後に不在となる店舗等は付近に異常を気づいて貰うことも重要です。

2 消火器・消火設備・防火ダンパーなど

火気専用の消火器を別に備えると、緊急時に迅速な対応が可能です。排煙経路に、防火ダンパーなどを設備すると延焼拡大の防止に有効です。

3 火気設備の点検と整備

規格に適合した製品を適正に使用しましょう。

適正な点検整備を受け日常の維持管理を励行してください。